

表現したいイメージをもち、2声のアンサンブルの音楽をつくろう②

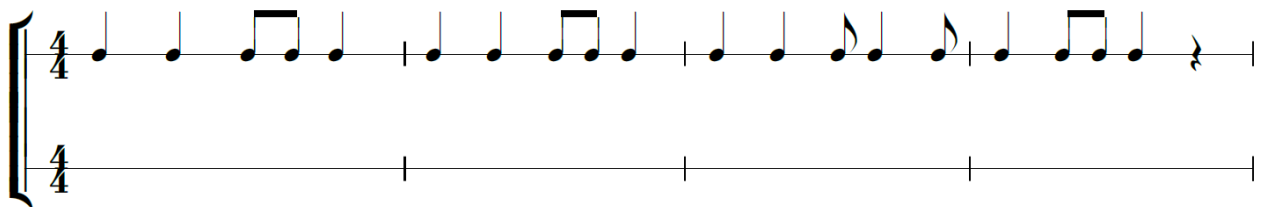
1年 組 番 氏名

- 1 ボディパーカッションの3種類の奏法①手拍子、②ひざ打ち、③足ぶみ による音素材の特徴と演奏効果を感じ取り、音楽づくりに生かそう！！

奏法	音色や強弱の特徴	どんなときに使うとよいか
① 手拍子		
② ひざ打ち		
③ 足ぶみ		
♪それぞれを組み合わせ、どのような感じになるか2人で実際に試しながら考えよう。		

- 2 2つのリズムの旋律の関わり合い(テクスチャ)の特徴を感じ取り、音楽づくりに生かそう。

＜基になる4小節のリズム＞



テクスチャ例	2つの声部のリズムの特徴	その音の重なりで、具体的に どんな場面(様子)が表せそうか
①		
②		
③		
④		

3 表現したいイメージをもち、音楽の構成と3種類の奏法（音素材）を工夫して、2声のアンサンブルの音楽をつくろう

＜音楽をつくる 課題と条件＞

- ①反復、変化などの構成を工夫してつくる。
- ②3種類の奏法（音素材）の特徴を生かして音楽をつくる。
- ③実際にボディーパーカッションで音を出しながら、試行錯誤して音楽をつくる
- ④表現したいイメージと関わらせて音楽をつくる。

重要！！ →題名は「朝」とか「通学路」でなく、2声なので、2人じゃないとできないものを具体的に設定するとアンサンブルが考えやすくなります。

○使える音符や休符

題名：



①

②

♪つくった音楽について（題名のイメージと関連させながら説明しよう）

例えば

- ・①・②は何を表している？
- ・イメージの変化によって音楽がどのように進んでいく？
- ・反復、変化について、どのように工夫している？
- ・3種類の奏法をどのような意図で使っている？
- ・2声のリズムの関わりについて、どのような意図でつくっている？

◎使う言葉 <3種類の奏法（手拍子・ひざ打ち・足ぶみ）> <小節> <反復・変化>